



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月13日

上場会社名 株式会社情報戦略テクノロジー 上場取引所 東
コード番号 155A URL <https://www.is-tech.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高井 淳
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 伊藤 修次郎 TEL 03-6277-3461
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト、個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第3四半期の業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	4,271	9.3	275	△9.9	259	△14.8	187	△14.6
2023年12月期第3四半期	3,908	—	305	—	304	—	219	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	19.38	18.21
2023年12月期第3四半期	25.87	—

- （注）1. 2022年12月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 当社は、2024年3月28日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2024年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2024年12月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 2023年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	2,642	1,666	63.0
2023年12月期	1,837	713	38.8

（参考）自己資本 2024年12月期第3四半期 1,666百万円 2023年12月期 713百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,811	9.7	419	8.1	394	2.5	286	3.9	29.11

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期3Q	10,338,500株	2023年12月期	8,500,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	一株	2023年12月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期3Q	9,685,879株	2023年12月期3Q	8,500,000株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、2024年12月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、2024年3月27日付で払込完了した公募(ブックビルディング方式による募集)による新株式の発行に伴う公募増資分(1,470,000株)及び2024年4月30日に払込完了したオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資(310,500株)を考慮し算出しております。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策により景気は緩やかな回復基調が続いているものの、海外景気の下振れや物価の上昇、金融資本市場の変動、地政学的リスク等により景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。当社の主要顧客である大企業の業況については、製造業・非製造業ともに景況感の改善が見られた業種がありました。先行きは製造業においては前向きな見通しの一方、非製造業においては人手不足の深刻化や金利上昇への警戒感から慎重な見通しとなっております。

そのような状況において、当社の主要事業領域であるDX（デジタルトランスフォーメーション）に関連するIT投資需要は依然として旺盛であります。当社の定義する「DX」とは、ITを活用して業務の効率化（コスト低減）や付加価値の増加（収益アップ）を実現し、それを通じて事業の競争力を向上することであり、各企業とも存続のために不可欠な取り組みとなっております。DX関連投資を牽引役として、情報サービス業界では今後も売上増加が見込まれている一方、深刻化するIT人材の不足により人材獲得競争の激化が懸念されております。

このような経営環境のもと、顧客のIT投資効率の最大化を実現するため、当社は各業界大手企業のシステム開発のDX内製支援「0次DX」を推進してまいりました。当社の定義する「内製」とは、事業会社がシステム会社に任せきりにせず自ら主導的にシステム開発を推進することを指しています。当社は顧客の「DX内製」を支援するにあたり、第三者的な受託者という意識ではなく、顧客との間で相談・提案を繰り返しながら協働してシステム開発を進めることを特徴としており、それを「1次」請けを超えた「0次」と表現しております。

当第3四半期累計期間においては、「0次DX」実現のために顧客と協働してシステム開発を進める「0次システム開発」において、前事業年度に引き続き既存顧客の深耕と新規顧客の開拓を進めました。新卒入社者を除くエンジニア社員の平均月単価は、新卒採用人数の拡大により単価の低い若手社員が増加したことから当第3四半期会計期間末時点で112万円となりました。社員エンジニア数は、新卒採用及び中途採用により、前事業年度末時点の219名から当第3四半期会計期間末時点で254名へ増加いたしました。

パートナー企業の拡大に資するシステム開発企業向けオープンプラットフォームサービス「WhiteBox」においては、会員の獲得及び有償化を推進し、総会員数は前事業年度末時点の2,091社から当第3四半期会計期間末時点で2,623社へ増加いたしました。

なお、当社は従来東京都渋谷区内に2つの拠点（本社オフィス・サテライトオフィス）を設けていましたが、9月より拠点を集約しております。これにより賃料の増加や移転費用等が発生しましたが、業務がより円滑に行われるだけでなく、採用においても効果があるものと見込んでおります。

これらの結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高4,271,768千円（前年同期比9.3%増）、営業利益275,379千円（前年同期比9.9%減）、経常利益259,539千円（前年同期比14.8%減）、四半期純利益187,720千円（前年同期比14.6%減）となりました。なお、当社はDX関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産合計は2,406,540千円となり、前事業年度末に比べ687,182千円増加いたしました。これは主に、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う新株発行等により現金及び預金が659,854千円増加したことによるものです。

固定資産合計は236,415千円となり、前事業年度末に比べ117,919千円増加いたしました。これは主に、敷金が116,347千円増加したことによるものです。

この結果、総資産は、2,642,955千円となり、前事業年度末に比べ805,101千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債合計は905,864千円となり、前事業年度末に比べ44,336千円減少いたしました。これは主に、賞与引当金が57,588千円増加した一方、未払金が60,594千円減少したことによるものです。

固定負債合計は70,320千円となり、前事業年度末に比べ103,448千円減少いたしました。これは、長期借入金が103,448千円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は、976,184千円となり、前事業年度末に比べ147,784千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,666,770千円となり、前事業年度末に比べ952,885千円増加いたしました。これは主に、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う新株発行等により資本金が382,582千円、資本剰余金が382,582千円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は63.0%（前事業年度末38.8%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、2024年3月28日公表の「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」から変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,175,771	1,835,626
売掛金	517,462	539,527
その他	26,123	31,386
流動資産合計	1,719,358	2,406,540
固定資産		
有形固定資産	20,453	22,924
無形固定資産	4,336	3,479
投資その他の資産		
敷金	45,587	161,934
その他	48,119	48,076
投資その他の資産合計	93,706	210,011
固定資産合計	118,496	236,415
資産合計	1,837,854	2,642,955
負債の部		
流動負債		
買掛金	208,076	222,223
短期借入金	150,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	181,404	142,122
未払法人税等	74,728	54,242
賞与引当金	57,957	115,545
その他	278,034	221,731
流動負債合計	950,201	905,864
固定負債		
長期借入金	173,768	70,320
固定負債合計	173,768	70,320
負債合計	1,123,969	976,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	432,582
資本剰余金	—	382,582
利益剰余金	663,489	851,209
株主資本合計	713,489	1,666,374
新株予約権	396	396
純資産合計	713,885	1,666,770
負債純資産合計	1,837,854	2,642,955

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	3,908,229	4,271,768
売上原価	2,760,219	3,044,816
売上総利益	1,148,009	1,226,952
販売費及び一般管理費	842,429	951,572
営業利益	305,580	275,379
営業外収益		
受取利息	8	128
助成金収入	1,275	990
保険配当金	75	727
その他	20	—
営業外収益合計	1,379	1,845
営業外費用		
支払利息	2,221	1,872
上場関連費用	—	12,059
株式交付費	—	3,742
その他	—	10
営業外費用合計	2,221	17,685
経常利益	304,738	259,539
特別利益		
投資有価証券売却益	—	20,000
特別利益合計	—	20,000
特別損失		
固定資産除却損	—	9,305
特別損失合計	—	9,305
税引前四半期純利益	304,738	270,234
法人税等	84,808	82,514
四半期純利益	219,930	187,720

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第3四半期会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

当社の事業セグメントは、DX関連事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年3月28日に東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この株式上場にあたり、2024年3月27日を払込期日とする有償一般募集増資(ブックビルディング方式による募集)による新株式1,470,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ311,052千円増加しております。

また、2024年4月30日を払込期日とする第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)による新株式310,500株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ65,701千円増加しております。

これらの結果等により、当第3四半期会計期間末において、資本金が432,582千円、資本剰余金が382,582千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	5,233千円	6,303千円